

# Tokyo Oxford Programme of Summer (TOPS) 2023

## 1. 活動時期

2023.08.06～08.22

5年4組 永井 理央

## 2. 参加のきっかけ

私は幼い頃から日本のインターに通っており、帰国生として学校に入学しましたが、周りの友達のように自分もいつか海外に住んでみたい！という強い思いがありました。そこでイギリス留学を支援しているTazaki財団に応募し、最終的には語学研修生として選ばれ、オックスフォード大学とケンブリッジ大学で実際に教えている教授方からの授業を受けることができました。

## 3. 参加した感想

### ①参加する前と後の変化

一番は、日本とイギリス教育との違いに気付けたことです。イギリスでは生徒一人と先生一人によるチュートリアルという授業が設けられそこでは困っていることや、最近あったことなどの何気ない話もでき、先生との距離を一気に縮めることのできる時間でもありました。現に私がイギリスに滞在したのは2週間ほどでしたが、授業を教わった先生とはとても親しくなることができました。また、チュートリアルのおかげでみんなが先生と仲を深め、授業アットホームな雰囲気の中で行いました。そのおかげか日本では質問するのが恥ずかしくてあまりしないのですが、数学の授業などではわからないことがあればすぐに手を挙げ、周りの人も同様に沢山の質問をしていたのも日本の授業風景とは違うなと思いました。

また、私はコンピューターサイエンスの授業も受けたのですが、通常の授業とは違い、4日間あったうちの1日は校外学習としてコンピューター博物館にみんなで行きました。そこでは、コンピューターができた当初のものから現代までのなど多くの種類のパソコンが展示されていました。別の歴史の授業をとっている生徒は、ロンドンまで電車で移動しての校外学習などもあったそうです。日本では校外学習はあまりなく、一つの授業でどこかに行くことはほぼありません。私もてっきりホワイトボードなどに授業スライドなどを映して行うのだと思っていたので、すごく驚きました。日本の授業スタイルにも多くの良さはありますが、他国の授業スタイルにも触れることができたことがこの活動を通じた一番のメリットに感じました。



(図1) イギリスでの授業風景

### ②活動中の面白かったポイント



(図2) パンティングの景色

イギリスでは、観光以外にも周りの友達と一緒にパンティングに参加しました。パンティングとは10人ぐらいが乗れる細長い船をこぐ遊びのことで、お茶を飲みながら景色をゆったりと見ることができます。一番印象的だったのが、ケンブリッジ大学のコレッジの真ん中に流れている小川を通過することができたことです。普段はお目にかかれぬ大学を中から見ることができたり、パンティング中に大学内に馬を見つけたりすることができました。また、有名な数学橋という橋の下も通ることができたのでとても満足できる体験でした。

追記：自分でも船を漕ぐ体験ができたのですが、まっすぐ進むのがとても難しかったです、！ぜひイギリスに行った時にやってみてください！

## 4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

何事にも興味を持ったものに関しては挑戦してみることです。海外に行くことは知らないことだらけで怖いことが多いかもしれませんが、必ずこのような経験は自分のためにはなりますし、新たな気づきへとつながりますので思い切ってぜひ皆さんもチャレンジしてみてください！